

P T Aとしての「働き方改革」メッセージ

＜令和6年度のP T A活動に向けて＞

～保護者も学校・幼稚園と共に「働き方改革」を進めよう～

- 文部科学省が令和4年度に実施した教員勤務実態調査では、依然として長時間勤務の教員が多い実態が明らかになり、教員の多忙な勤務状況は改善していません。そして、全国的に**教員不足が大きな課題**となっており、京都市においてもその対策に取り組んでいます。
- 更に、家庭の状況も踏まえた子どもたち一人一人に寄り添ったきめ細かな対応や、先行き不透明な時代を生きる子どもたちが主体的に学び、自分らしく生きる力を育むための教育活動の推進など、学校に求められる役割がより一層、多様化・高度化しています。
- こうした中、先生方がしっかりと子どもたちと向き合うことのできる、持続可能な学校体制の構築に寄与するためには、各校園P T Aが、学校園とより連携を密にし、真に、子どもたちのための組織となるよう、これまでの実践の見直しも含め、取り組むことが求められます。
- 「今こそ子どもを真ん中に」、京都市P T A連絡協議会は、子どもたちの学びと育ちに資するP T A活動の展開と、学校・幼稚園の働き方改革の推進に向けて、引き続き取り組んでいきます。

1 対話に基づく学校・幼稚園の働き方改革の推進

- ・『学校・幼稚園の働き方改革推進宣言』（令和2年3月）（別添）に基づき、引き続き「**子どもも大人もいきいきと笑顔あふれる学校・幼稚園**」づくりを、学校・幼稚園と共に進め、子どもと教職員のウェルビーイングの向上を目指します。
- ・現在、京都市においても、学校現場の教員不足が深刻な状況になっています。そこで、教職員の多忙な状況を理解し、現在、各中学校ブロックでの実施が検討されている電話対応開始・終了時刻統一への後押しなど、学校園における時間外勤務の改善に向けて共に取り組み、その周知を進めていきます。

2 時代に合わせたP T Aへの進化

- ・コロナ禍において、各校園のP T Aで工夫して取り組んだ経験も踏まえ、令和6年度においても、法令遵守を徹底し、負担感の少ない活動内容や組織体制へ進化し続けることが大切です。
- ・「今こそ子どもを真ん中に」、はぐくみ文化を原点に子どもたちの学びと育ちに資するP T A活動を展開するため、目的を再確認し、効果的・効率的な活動を進め、**より多くの保護者の皆さんに、安心してP T Aの輪に入ってもらえる組織となるよう、「京都市型P T A」の推進に引き続き取り組んでいきたいと思います。**

3 休日等におけるP T A活動のあり方の検討

- ・市P連及び各連協では、I C Tを利活用したオンライン・ハイブリッド会議の開催、研修コンテンツの制作、市P連HPによる情報配信など、負担軽減を図りながら情報共有や学習機会の充実を目指し、取組を進めています。
- ・各校園のP T Aにおいても、活動する日時や場所、内容の精選、さらには保護者連絡ツール等のI C Tの積極的な活用について、高い意識を持ち、**P T A活動の質的向上と、学校・幼稚園の働き方改革の推進に取り組んでいきます。**

令和6年3月

京都市P T A連絡協議会

京都市立幼稚園P T A連絡協議会

京都市小学校P T A連絡協議会

京都市立中学校P T A連絡協議会

京都市立高等学校P T A連絡協議会

京都市立総合支援学校P T A連絡協議会

今こそ、子どもを真ん中に！

P T Aとしての「働き方改革」メッセージ

～保護者も学校・幼稚園と共に働き方改革を進めよう～

○私たちは、改めて教育の出発点が家庭にあることを認識し、家庭の教育力を向上させながら、学校・幼稚園づくりを共に進める当事者の一員として、学校・幼稚園教育を支えていくことを実行する時期にきています。

○京都市 P T A 連絡協議会は、京都市の「一人一人の子どもを徹底的に大切にする」教育の質の向上のため、「子どもも大人もいきいきと笑顔あふれる学校・幼稚園」づくりを、学校・幼稚園、教育委員会と共に進めていきます。

1 対話しよう！ ～Talk together！～

学校・幼稚園や先生の働き方について知り、また P T A や保護者のことを学校・幼稚園や先生に知ってもらえるよう、「対話」の機会を設け、教育を支えていく環境づくりを進めていきます。

【取組例】

- ・あらゆる機会を活用して、「働き方改革」に関する先生と P T A との懇談の場を設ける（本部役員会、茶話会、学級懇談会、家庭教育講座、学校運営協議会 等）
- ・特に若い先生が働きがいを持てるよう、「挨拶」、「励まし」、「リスペクト」で心を通わせながら、応援する

2 分かち合おう！ ～Share together！～

学校・幼稚園と育てたい子ども像を共有し、保護者が担う役割を改めて認識するとともに、お互いの信頼関係を構築し、子育ての「楽しさ・面白さ」を実感しながら、学校現場の「働き方改革」に参加していきます。

【取組例】

- ・子どもの学びの充実に向けた、先生の授業準備の確保のため、電話対応終了時刻、登校時刻、閉校時刻の設定、部活動のあり方について、P T A から周知徹底
- ・学校・幼稚園及び P T A 行事への参加や小中連携など保護者の横のつながりを促し、子育ての苦労や喜びを分かち合える関係づくりを進め、P T A の魅力向上に努める

3 見つめ直そう！ ～Review together！～

働き方改革を自らの生き方を見つめ直す機会として捉えるとともに、P T A 活動も今の時代に即した活動となるよう、あるべき姿を学校・幼稚園や地域と話し合い、より良いものとしていきます。

【取組例】

- ・P T A に関する会議や行事の設定曜日・時刻の配慮、内容や実施方法・場所の見直し
- ・配布文書の電子化、ホームページやFacebookなどを活用した情報発信
- ・学校運営協議会や地域生徒指導連絡協議会等における P T A 活動や地域行事等への理解促進

令和2年3月

京都市 P T A 連絡協議会

子どもたちの今と未来のため、社会のあらゆる場で
「京都はくくみ憲章」を実践しましょう！



京都市立幼稚園 P T A 連絡協議会
京都市小学校 P T A 連絡協議会
京都市立中学校 P T A 連絡協議会
京都市立高等学校 P T A 連絡協議会
京都市立総合支援学校 P T A 連絡協議会